

平成 29 年第 5 回 沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成 29 年 5 月 18 日 (木) 午後 3 時 30 分～午後 4 時 00 分

2 場 所 沼津市立静浦小中一貫学校 1 階 会議室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名 (土屋委員 川口委員)
- (3) 教育長の報告
- (4) 議 案
なし
- (5) 協 議
 - 1) 協議第 6 号 専決処分の報告について
 - 2) 協議第 7 号 専決処分の報告について
 - 3) 協議第 8 号 平成 29 年度沼津市一般会計補正予算 (第 1 回) について
- (6) 報 告
 - 1) 平成 29 年度沼津市民大学の開催と受講者募集について
- (7) その他

4 出席者等

教育長 服部裕美子、教育長職務代理者 三好勝晴、委員 土屋葉子、委員 川口浩史、委員 重光純、教育次長 山田昭裕、教育企画課長 真野正実、学校管理課長 佐藤高志、教育指導監兼学校教育課長 大川淳、文化振興課長兼戸田造船郷土資料博物館長 中島康司、生涯学習課長補佐 大沼政彦、調整担当教育企画課長補佐 矢田陽子、教育企画課指導主事 本杉淳、教育企画課主任 飯田彩美、教育企画課副主任 長剣吾

5 会議内容

服部教育長が、午後 3 時 30 分開会を宣言する。

服部教育長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

また、協議事項については、6 月沼津市議会定例会に提出する案件であるため、非公開にすることを、委員に諮り了承される。

傍聴人 1 名

- (1) 会議録署名人の指名
服部教育長より会議録署名人に土屋委員、川口委員を指名する。
- (2) 教育長報告
はじめに、私から報告をさせていただく。

平成 30 年度に東海 4 県を開催県として行われる全国高等学校総合体育大会、いわゆるインターハイの準備が始まった。幹事県は三重県であり、静岡県は、体操、女子サッカー、バドミントン、弓道、相撲の競技会場となっており、沼津市では平成 30 年 8 月 3 日から 5 日までの 3 日間で競技が開催される。

9 日には、インターハイに向けた第 1 回沼津市実行委員会が開催された。大会の円滑な実施に向け、市を挙げて開催に向けて準備を進める必要があり、関係機関の協力を得て沼津市実行委員会を立ち上げた。

インターハイ出場は、高校生にとっての大きな目標であり、全国から多くの来場者が予定されている。沼津の地で高校生が最高の力を発揮して良い大会になるようサポートしていきたいと考えている。

10 日には、大沼市長、新屋副市長、硯谷副市長とともに市内の学校を訪問した。大沼市長からは、かねてより学校訪問を希望している旨を伺っていたため、今回の訪問が実現した。

訪問した学校は、複式学級が発生している内浦小学校、施設一体型小中一貫学校である静岡小中一貫学校、ことばの教室がある第二小学校である。当日は、子どもたちの学ぶ様子や教員の指導の様子、学校の成果と課題を実感していただき、大変有意義な訪問となった。市長、両副市長ともに教育のことを重視し、よく考えていただいていると感じた。

今後は、総合教育会議等を通じ、市内全ての小中学校のより良い教育の在り方や教育環境の充実に向けて協議していきたいと考えている。

11 日、12 日には、つくば市で開催された関東地区都市教育長協議会総会に出席した。他県の教育長と各都市の課題や取組等についての情報交換を行い、大変有意義であった。

当日は、文科省の行政説明やトップアスリート育成に関するチームマネジメントについての講話、分科会においては、地域の力や良さをどのように学校に取り入れるか、富士宮市の富士山学習を中心とした発表があった。

また、教員の資質能力の育成について、各地で同じように若手教員が増えているとともに、育休の長期化と代替による臨時講師の増加が見られ、研修の機会を設ける必要があるということについても話題となった。

さらに、人材育成と共に教育の魅力、学校で働くすばらしさを実感できるよう、働き方を改善する必要があること、教職員定数を増やすように国に要望していくことを確認した。

以上。

続いて、事務局から、その他の 4 月の主な行事等について、報告をする。

教育企画課長

14 日には、第 35 回ぬまづ茶会が開催された。

この茶会は、昭和 58 年度に市制 60 周年記念事業として、沼津産やぶきた茶が昭和天皇の献上茶になったことを契機に開催して以来、地場産業の「お茶」の PR と御用邸で茶会の気分を楽しんでいただくことを目的に開催しており、5 月の恒例行事となっている。

茶道 7 流派による茶会で、御用邸東附属邸で開催され、約 1000 名の参加があった。芝生広場では茶道体験コーナーも催された。当日は天候に恵まれ、和服姿の来場者も多く見られ、大変華やかな茶会となった。

18 日、本日は、沼津市学校保健会総会が行われた。

本市では、児童生徒と教職員の健康の保持・増進を図るため、各種健康診断の実施や学校

保健関係者の指導、研修、啓発活動等を実施している。

総会では、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保健主事等それぞれの部会の活動報告などがあった。

24日には、学校配置の適正化を図るにあたり、長井崎中学校区における第1回地区推進委員会を開催する予定である。今回は初回ということもあり、教育長も出席する予定である。

推進委員は、内浦、西浦地区の自治会長、小中学校長、PTA会長、今後小学校に入学する保護者などで構成している。

当日は、適正化基本方針の内容、小中一貫教育の推進、今年度のスケジュール等について事務局区から説明をする中で、委員の皆様からご意見を伺う予定である。

長井崎中学校区については、校区も広く、内浦地区については静浦小中一貫学校も隣接することから、適正化の方向性にいくつかの選択肢があり、難しいところもあると考えている。

児童生徒数の現状や将来推計を踏まえると早急な対応が必要となることから、地域の方々に丁寧な説明をする中で、ご理解を得ていきたいと考えている。

以上簡単であるが、報告とさせていただきます。

服部教育長

以上、説明が終わったが、質問等はいかがか。

特にないようなので、以上で教育長報告とさせていただきます。

<協議>

服部教育長 それでは、協議事項については、非公開とさせていただきますので、傍聴人の方は、これから先の審議、会議については退席を願う。

協議第6号 専決処分の報告について

(文化振興課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見はいかがか。

特にないようなので、協議第6号については、6月市議会定例会に専決処分の報告を行うということで、その内容についてご了承いただくということよろしいか。

各委員 異議なし。

服部教育長 異議なしと認める。

協議第7号 専決処分の報告について

(文化振興課長 資料に基づき説明)

服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見はいかがか。

三好委員 ねじが同時に全部抜けるということがあるのか。ねじ山の摩耗が原因ということだが、古くなっていたことが原因か。

文化振興課長 ねじは8本あった。机は、平成24年3月に納品されたものである。業者に原因の調査を依頼したところ、JIS規格の合格品であるということであった。

ねじ山の摩耗に関しては、あくまでも推測だが、該当する机は取り出しやすい位置にあり、使用頻度が高かったためと考えている。他の机も調査したが、

全てのねじが緩んでいるという机はなかった。

業者による検証実験も実施したが、ねじ山が摩耗している状況で使用すると天板が外れる場合もあったとのことであった。もちろん、通常では考えにくいケースである。

- 重光委員 治療にかかった実費は、健康保険を利用していないと考えて良いか。
文化振興課長 診療費を本人が一度立て替えていることは承知している。
服部教育長 ご意見もつきたようなので、協議第7号については、6月市議会定例会に専決処分の報告を行うということで、その内容についてご了承いただくということによろしいか。
- 各委員 異議なし。
服部教育長 異議なしと認める。

協議第8号 平成29年度沼津市一般会計補正予算（第1回）について
（教育次長 資料に基づき説明）

- 服部教育長 説明が終わったが、本件に対する質問、意見はあるか。
特にないようなので、協議第8号については、原案のとおり6月市議会の議案として提案することによろしいか。
- 各委員 異議なし。
服部教育長 異議なしと認める。
議案第8号については、原案のとおり6月沼津市議会の議案として提案することに決する。

<報告>

- 服部教育長 それでは、これから先の会議については、傍聴人の方の入室を許可するので、事務局で遵守事項等の所作を願う。
日程（6）報告に入る。

1) 平成29年度沼津市民大学の開催と受講者募集について

（生涯学習課長補佐 資料に基づき説明）

- 服部教育長 説明が終わったが、本件に対するご質問、ご意見等はいかがか。
三好委員 講師の先生にはどのように依頼するのか。
生涯学習課長補佐 所属事務所に直接連絡をすることが多い。
ちなみに、本日の段階では、まだ定員に達していない。受講希望の申し込みは、50%が電話、25%がインターネット、25%がFAXによるものである。
- 土屋委員 定員オーバーのときはどうするのか。
生涯学習課長補佐 抽選である。大きな会場に変更することは現時点では考えていない。
服部教育長 その他、何かあるか。
ないようなので、本件は報告を受けたということでご了承願う。

<その他>

- 服部教育長 その他、何かあるか。

ないようなので以上をもって本日の定例会を終了する。

午後4時00分 閉会

※引き続き、静浦小中一貫学校の取組に関する学校長からの報告、本市の小中一貫教育への取組に関する教育委員会事務局からの説明を実施した。

(静浦小中一貫学校校長 教育企画課長 資料に基づき説明)

- 服部教育長 説明が終わったが、ご質問、ご意見等はいかがか。
- 三好委員 素晴らしい実践であると思う。中学生の情緒面での成長も伺える。全校で行く縦割り班での遠足も良い。施設一体型の校舎における取組だからこそその成果もあると思われるが、他の学校においても良いところを取り入れていただきたい。課題点としてはどのようなことがあるのか。
- 中野教頭 小中一貫校であっても、通常の小学校、中学校の教科書を使う。そのため、例えば6年生の教科書では卒業を意識した内容を扱う場合もある。そのような教材においては、子どものモチベーションが上がりきらないものもある。
- 大川副校長 乗り入れ授業や教科担任制を取り入れているため、時間割を編成することが大変難しい。
- 学校長 教員の体制については、本校は学年主任を配置せず、4-3-2に区分けした志部ごとに志部長を配置している。複数学年にわたる支部長は、通常の学年主任より負担が大きい、主任手当が付かない。
子どもの様子については、子どもによっては、小学生から中学生になるときに一旦リセットすることが良い場合もある。また、小学生から中学生になるときのハードルを超える経験があると、中学生から高校生になるときのハードルを乗り越やすくなる場合もあると考えられる。
- 服部教育長 制度面で追いついていないという状況もある。現在は、全学年が単学級であるという点についてはどうか。
- 学校長 クラス替えができないので、せめて学級担任は毎年変えるようにしている。
- 土屋委員 開校前から関わっており、開校までは不安もあった。中学校の教員が小学生を教えるという点で、教員は苦勞があると思うが、学校の雰囲気も落ち着いていて良いと思う。このような形で良かったと思う。大変うれしい。成果を市内の他の学校へ広げてほしい。
- 重光委員 小学6年生と中学1年生(7年生)の区切りがないのは難しさもあるだろう。部活動やランドセルについてはどうしているのか。
- 川口委員 未来の学校という印象を受けた。図書室も素晴らしい。例えば図書室などの学校施設を地域の方が活用するような状況はあるのか。
- 大川副校長 部活動は、7・8・9年生で実施している。小学生段階のクラブ活動は、中学生段階の部活動の種目と同じにし、つながりを持たせている。
また、チャレンジクラブと称し、中学生と共に小学生が部活動に参加する機

会を学期に2回ずつくらい設けている。6年生は3月に体験入部をし、4月から即、本入部という形を取っている。

中野教頭

ランドセルについては、5・6年生の段階から中学生用のバックを使用しても良いことになっている。

学校長

地域の方々が図書館等を活用するところまではまだ取り組んでおらず、今後の課題であると考えている。放課後児童クラブで図書室等を利用するケースはある。

服部教育長

ハード面、ソフト面の両面から教育委員会としてより良い方向を探っていきたい。

以上で終了する。

16:30 終了